

食品の安全・安心シンポジウム アンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

食品の安全・安心シンポジウム参加者のシンポジウムの満足度等を把握し、今後のシンポジウムの参考とするため、ご意見等伺いました。

2 調査対象

調査対象：シンポジウム参加者 159 名

調査方法：記述式

調査日：シンポジウム終了後

回収結果：109 名（68.6%）

3 結果の概要

○シンポジウムをどのような方法で知ったかについては、関係者からの紹介によるが 58.7%。
チラシで知ったという人は、参加者の 19.3%。

○シンポジウムの評価については、

説明の内容は満足、だいたい満足と回答した割合は、89.0%。

（満足 27.5%、だいたい満足 61.5%）

質疑応答・意見交換については、満足、だいたい満足と回答した割合は、85.3%。

（満足が 19.3%、だいたい満足は 66.1%）

全体としては、90.8%の人が満足(22.9%)、だいたい満足（67.9%）と回答。

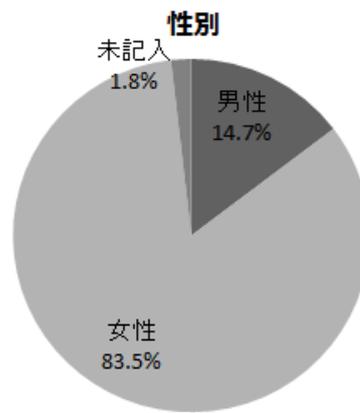
○本シンポジウムで食品に対する不安は減ったかについては、56.9%の人が減った
(12.8%)、やや減った(44.0%)と回答。

○今後シンポジウムに参加するとしたらどんなテーマがよいかについては、食品添加物が 1 番
多く(27.3%)、次いでアレルギー物質(25.0%)であり、3 番目は食品表示(17.2%)で
あった。

4 回答者属性

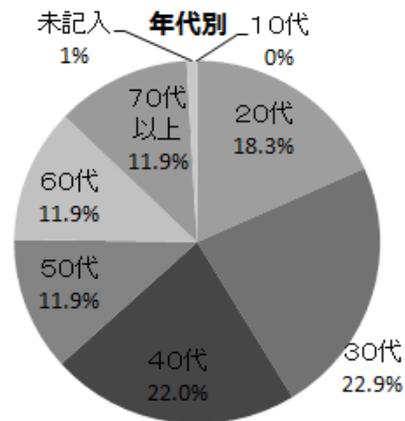
(1) 性別

	人数	割合
男性	16	14.7
女性	91	83.5
無回答	2	1.8
計	109	100.0



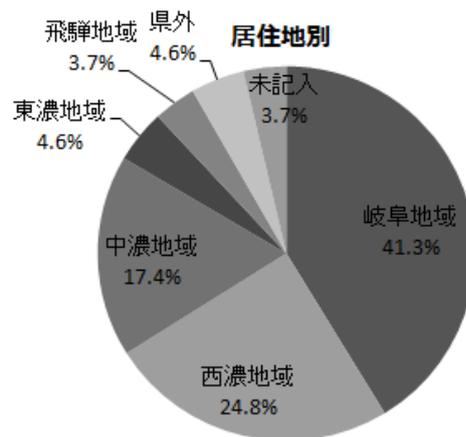
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	0	0
20歳代	20	18.3
30歳代	25	22.9
40歳代	24	22.0
50歳代	13	11.9
60歳代	13	11.9
70歳以上	13	11.9
無回答	1	0.91743
計	109	100.0



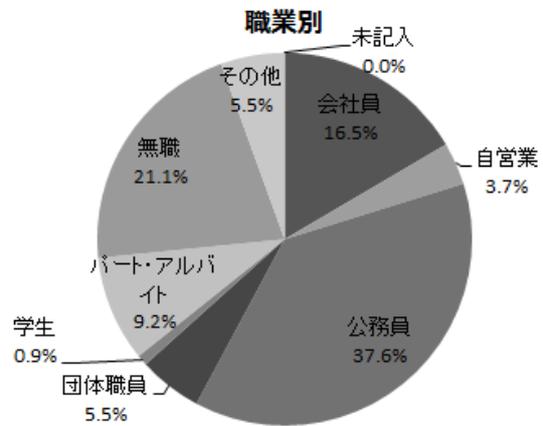
(3) 居住地別

	人数	割合
岐阜地域	45	41.3
西濃地域	27	24.8
中濃地域	19	17.4
東濃地域	5	4.6
飛騨地域	4	3.7
県外	5	4.6
無回答	4	3.7
計	109	100.0



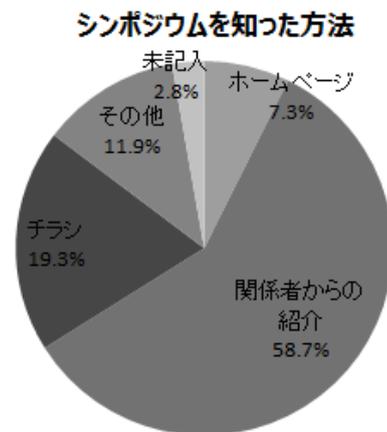
(4) 職業別

	人数	割合
会社員	18	16.5
自営業	4	3.7
公務員	41	37.6
団体職員	6	5.5
学生	1	0.9
パートアルバイト	10	9.2
無職	23	21.1
その他	6	5.5
無回答	0	0.0
計	109	100.0



(5) 本日のシンポジウムを、どのような方法で知りましたか？

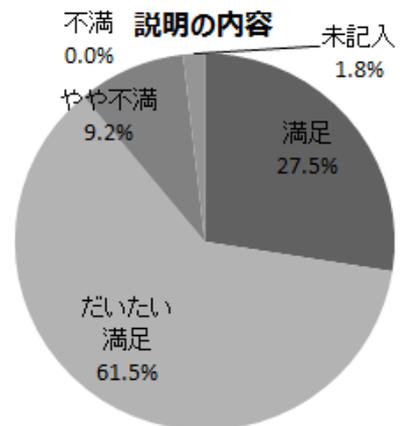
	人数	割合
ホームページ	8	7.3
関係者からの紹介	64	58.7
チラシ	21	19.3
その他	13	11.9
無回答	3	2.8
計	109	100.0



(6) シンポジウムの評価

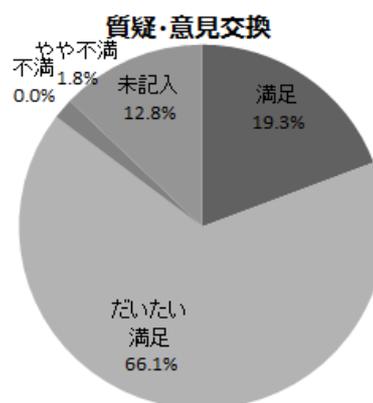
①説明の内容について

	人数	割合
満足	30	27.5
だいたい満足	67	61.5
やや不満	10	9.2
不満	0	0.0
無回答	2	1.8
計	109	100.0



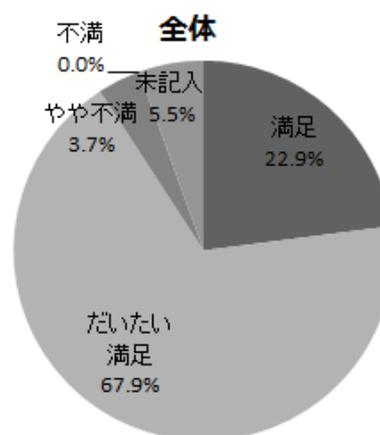
② 質疑応答・意見交換について

	人数	割合
満足	21	19.3
だいたい満足	72	66.1
やや不満	2	1.8
不満	0	0.0
無回答	14	12.8
計	109	100.0



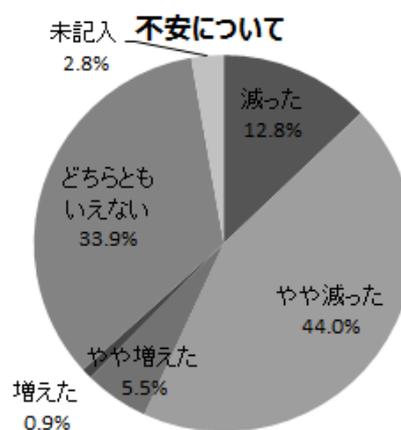
③ 全体について

	人数	割合
満足	25	22.9
だいたい満足	74	67.9
やや不満	4	3.7
不満	0	0.0
無回答	6	5.5
計	109	100.0



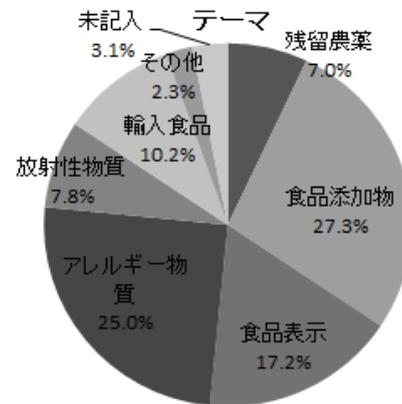
(7) 本日のシンポジウムに参加して、食品に対する不安が減りましたか？

	人数	割合
減った	14	12.8
やや減った	48	44.0
やや増えた	6	5.5
増えた	1	0.9
どちらともいえない	37	33.9
無回答	3	2.8
計	109	100.0



(8) 今後、シンポジウムに参加するとしたら、どんなテーマがいいですか？(複数回答)

	人数	割合
残留農薬	9	7.0
食品添加物	35	27.3
食品表示	22	17.2
アレルギー物質	32	25.0
放射性物質	10	7.8
輸入食品	13	10.2
その他	3	2.3
無回答	4	3.1
計	128	100.0



【その他意見】

- ・食物アレルギーに興味をもつきっかけとなりました。今日得た知識は、会社に持ち帰り、広めていきたい。
- ・今後もアレルギーに関する講演や勉強会を行ってほしい。
- ・食物アレルギーの子が増えているので、アナフィラキシーの際などすぐに対応していただけるよう、関係者により一層指導や、このシンポジウムのような講座、勉強会をしていただきたい。保護者としては安心して学校などに通うことができるような環境づくりをお願いしたい。
- ・食品製造施設への立入調査をされていることがわかり、食品に対する不安が減りました。
- ・食品表示が詳しくなることはよいことだと思います。